

第1学年（前期）国語科 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
<p>○言葉に出会うために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野原はうたう（詩） <p>1 学びをひらく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にじの見える橋（物語） ・言語①話し言葉と書き言葉（言語） ・スピーチ（話す） ・大根は大きな根？（説明文） ・ちょっと立ち止まって（説明文） ・わかりやすく説明しよう（書く） ・スピーチ名人（話す） ・漢字1（言語） ・はじめての詩（詩） ・言葉を集めよう（書く） ・文法の扉1（言語） <p>2 読書と情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしい読書、雪とパイナップル、江戸からのメッセージ（読書教材） <p>3 つながりを読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星の花が降る頃に（物語） ・大人になれなかった弟たちに（物語） ・言葉2（言語） <p>・書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二編の詩を読み味わい、工夫して音読する。 ・登場人物の心情や行動から気持ちの変化をとらえる。 ・両者の違いについて理解し、音声言語への関心をもつ。 ・取材したことをもとに構成を工夫してスピーチをする。 ・段落の役割に着目して文章を読み、内容をまとめる。 ・段落と段落の関係に注意して文章の構成をとらえる。 ・情報を取捨選択し、わかりやすい文章を作成する。 ・聞き手を意識して話す。 ・漢字の組み立てと部首を理解する。 ・表現の特徴に着目し、描かれている情景を想像する。 ・多くの言葉を集め、日常生活を題材とした推薦文を書く。 ・言葉の単位とその働きについて理解する。 ・目的に応じて必要な情報を読み取る。 ・人物の気持ちや行動、描写に注意して読む。 ・登場人物の行動や情景描写に着目し、作者の思いを捉える。 ・指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。 ・姿勢と筆記用具の持ち方を知る。楷書と仮名をバランスよく書く。

評価・評定について					
評価事項	意欲・関心	聞く・話す	書く	読む	言語
評定に関する 観点の割合	20%	20%	20%	20%	20%
評価事項	自己評価表、提出物（ノート、ワーク、二百字帳、宿題）態度、忘れ物	自己評価表、発表、暗唱、音読、群読、聞くテスト、態度	自己評価表、詩、作文、感想文、ノート	定期試験、授業理解	定期試験、小テスト、漢字テスト、書写作品